



ほほえみ

平成28年

1月号

No.34



手作り門松で新春を祝う

表紙：ダイナミックス門松づくり

もくじ

- 理事・監事の新春メッセージ… 2
- 第4回福祉まつり…………… 5
- しあわせ川柳…………… 6
- 作業所NEWS…………… 8
- ファミリー・サポート・センターよりお知らせ… 9
- 高齢者安心サポート企業研修… 10
- 京都府福祉大会…………… 10
- 住民寄り添い型助け合い活動「かがやき」… 11
- 寄付お礼…………… 12

暮らしの応援ボランティア ダイナミックス



「ダイナミックス」を立ち上げ20年。高齢者、障がい者世帯を中心に草刈り、日曜大工などの暮らしに根ざした活動を行うボランティアサークルです。

門松作りも、菰・松・竹・梅・南天など材料を集めたり、事前に組んだりして持ち寄り、手際よく飾りつけられました。瑞穂

保健福祉センター、京丹波町共同作業所瑞穂支所、特別養護老人ホーム瑞穂山彦苑・金木犀の玄関を彩りました。

は せ たかずみ
波瀬 孝澄 会長
(選出/学識経験者)



謹んで新春のお慶びを申し上げます。激動する社会経済情勢の変化に伴い、地域住民が生活を営む上で様々な問題が浮上しています。高齢化の問題や独居高齢者の増加、過疎化の進行により住民ニーズは多様化しており、ますます福祉サービスの充実が求められています。本会は、地域の信頼に応えるべく福祉の推進に取り組んでまいります。

京丹波町社会福祉協議会



新春メッセージ

新しい年のスタートにあたり、
社協理事・監事15名から、みなさまへメッセージをお届けいたします。

たにがき いさむ
谷垣 勇 副会長
(選出/学識経験者)



謹んで新春のお慶びを申し上げます。社協合併後、10年を迎えました。この10年は合併マニュアルに基づく組織体制で、社協としてどのように福祉を推進するかについて検討を重ねながら進めてまいりました。今年度末には組織改編を行い、全ての住民が心豊かで安全に暮らせる町づくりを目指して努めてまいりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

しょうた やすたけ
正田 恭丈 副会長
(選出/学識経験者)



介護保険制度改正により、地域づくりの必要性が強く認識されています。社協は地域福祉の推進を目的としています。これまで行ってきたサロン活動・見守り活動・ボランティア活動の支援、福祉機能等の充実、生活支援サービスの開発など地域支援は重要です。しかし「個の問題」が見えなければ地域づくりはできません。きっちりと地域支援と個別支援ができる社協となる必要があると考えています。

たなか つよし
田中 強 理事
(選出/民児協)



明けましておめでとうございます。昨年は、各地で豪雨による災害が多く発生し、国際社会ではテロが多発、いつ被害に遭遇するかわからない状況の一年でありました。今年こそは平和であってほしいものです。地域のみなさんが安心安全にお暮らしいただくために頑張っております。

いしだ みえ
石田 美恵 理事
(選出/民児協)



少子高齢化社会が加速し、支援を必要とされる方々が増加する中、見守り活動、訪問活動の大切さを痛感しています。「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる町づくり」を各関係機関の皆さまと連携を取りながら一緒に進めていきたいと思っています。

たけうち しげお
竹内 繁夫 理事
(選出／民児協)



明けましておめでとうございます。私が民生委員として担当している地域は、とても高齢化が進んでおります。最近の福祉施策は、複雑で高齢者にとって理解が難しくなっており「わからないので教えてほしい」などの相談が多く入ります。もう少し高齢者にとってわかりやすくやさしい社会にならないものか…と思います。

いとう よしのぶ
伊藤 嘉信 理事
(選出／区長会)



明けましておめでとうございます。京丹波町区長会を代表して社協の理事を務めることとなりました。これまでは社会福祉について深く考えることはありませんでしたが、改めて地域活動の重要性を実感しています。隣組の助け合い・見守りなどの活動を通じて安心して暮らせる地域づくりを目指します。

おかもと いさむ
岡本 勇 理事
(選出／老人クラブ連合会)



新しい年を迎えられ誠にありがとうございます。今後、ますます地域福祉の充実が求められる折に、引き続き理事をお引き受けすることになりました。今回の介護保険制度の改正により、要支援のサービスが町で実施することを受け、社会福祉協議会としてその一端を担うことになりますので、その業務の責任と使命の重さを肝に銘じ取組む所存です。

たけうち ひろこ
竹内 裕子 理事
(選出／女性の会)



澄んだ空気と水に恵まれた地域に住む私ですが、やはり一番気がかりなことは高齢化が進む厳しい現状です。それだけに「一人ひとりの支え合いの心」と「細かなネットワーク」が大切だと思います。「住み続けたい地域づくり」の輪が少しでも広がるように努めていきたいと思っています。

いちたに しずお
一谷 静夫 理事
(選出／福祉団体・機関)



今年4月から実施する社協の組織改編は、地域住民のニーズに基づいて積極的に活動を展開するため、社協が行ってきた事業が本当に適当であったか、今までの10年を振り返り必要な見直しを行うものです。社会福祉協議会は、住民参加の下に地域福祉活動を推進する組織として事業運営に取り組んでいきます。

えもと まさあき
江本 正昭 理事
(選出／福祉団体・機関)



高齢者は地域の宝です。高齢者の皆さまが、住み慣れた地域で日々元気で楽しく暮らしていただけるように取組むことも地域福祉の中核団体としての社協の重要な役割です。そのためには、社協が積極的に地域の中に入って活動をするとともに、高齢者個々のニーズの把握に努め、関係機関等とも連携しながら適切な福祉サービスの提供に結び付けていくことが大切だと考えています。

むかい あきよ
向井 章代 理事
(選出／ボランティア代表)



新年おめでとうございます。変わらない毎日を幸せと感じております。ボランティア年齢別登録状況をみますと前年度とほぼ同人数ではありますが、70歳以上が最も多くなっています。高齢になってもボランティア活動が続けていることに感謝しながらも、若い世代も育て、支え合いのまちづくりが継続できますように。

しもいず
下伊豆 かおり 理事
(選出／町行政)



京丹波町では、現在、「地域福祉計画」の策定に取り組んでいます。健康で、笑顔で安心して暮らせる地域づくりのために、見守り、声かけ、居場所づくりを進めるとともに、一人ひとりに出来ることと、それを繋ぐ仕組みを行政と社協が連携しながら一緒に考えていきたいと思っています。

こばた けいいち
小畑 圭一 監事
(選出／学識経験者)



明けましておめでとうございます。さて、合併後10年の節目を迎えて、多岐に亘る社協の事業活動を拝見するとき、各事業への参加が歴史的な背景から旧3町で大きな差異が見られます。限られた予算と人員の中で効果を最大限に発揮するため、今一度、事業内容を見直すなどの検討を進めてまいります。

えのもと ふじお
榎本 藤雄 監事
(選出／学識経験者)



明けましておめでとうございます。地域福祉を取り巻く環境は社会情勢や各種制度、施策の改正等により常に変動しています。このような中で、来年度、町民の皆さんが相談また各種福祉サービスが利用しやすいように、社協の組織体制等の見直しがされます。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

京丹波町社会福祉協議会の組織改編について

社協合併時には、事務形式上の整備を行ってきましたが、10年経過した中で、地域の実情に合わせた組織改編を現在検討しており、来年度（4月）には整備できるよう進めているところです。

第4回福祉まつり

「つながろう地域」～共に支えあう社会へ～



田川雅規氏(大阪府)
あそび工房もぐもぐ屋

平成27年11月1日(日)山村開発センターみずほで第4回福祉まつりを開催しました。

オープニングでは京丹波町共同作業所の利用者が2曲歌を披露し、会場はあたたかい拍手でつつまれました。

式典ではボランティア功労者表彰、地域障害者福祉功労者表彰が行われ、社協会長より感謝状を授与しました。その後各地域で活動されている配食ボランティア・朗読ボランティア・フラダンスグループに活動の発表をしていただきました。

記念講演では、今回の福祉まつりテーマである「つながろう地域～共に支えあう社会へ～」として、田川雅規氏に講演していただきました。手遊びから始まり会場は和やかな雰囲気の中、人とのつながりやコミュニケーションの大切さを話され、参加者からは「具体的な話でよくわかった」「地域と人とのつながりについて参考になった」などの声をいただきました。

その他、保健福祉課による健康増進コーナー、キッズコーナー、くるみの会コーナー、ボランティア活動展示、しあわせ川柳展示、模擬店、京丹波町共同作業所自主製品販売、ファミサポコーナー、レクリエーションコーナー、共同募金コーナー、介護保険コーナー、防災コーナー、クイズラリーなど。秋晴れの下、多くの笑顔のふれあいがみられ、これをきっかけに新たなつながりができることを期待しています。ご協力いただいた関係者、団体、地域のみなさまにお礼申し上げます。ありがとうございました。



保健福祉課の健康増進コーナー

くるみの会試食コーナー

関係団体による模擬店

キッズコーナー

《ボランティア功労者》

順不同・敬称略

横山美弥子(竹野ほほえみの会)
原澤 弘子(竹野ほほえみの会)
原澤 豊子(西階区ボランティア)
奥村 益子(須知区ボランティア)
湊 道子(絵手紙ボランティア)
田端 康江(蒲生ボランティア)
坂井歌代子(富田萩の会)
森田 春美(富田萩の会)
山内のぶ子(富田萩の会)
北村 直子(豊田あじさいの会)
軽野 順子(要約筆記サークルささやき)
塩田 治美(要約筆記サークルささやき)
出野 肇子(手をつなごう会)
大嶋 淳子(ガイドヘルパーみちづれ)
大田アキノ(大迫グループ)
堀 鈴代(大迫グループ)
吉田 和子(朗読ボランティアこたま会)
片山 勝義(配食ボランティア)

《地域障害者福祉功労者》

順不同・敬称略

有限会社オアシスランド
アステック
京扇産業株式会社
金本商店
三井商会
あかりガラス株式会社
フナイ産業株式会社
株式会社玉抛園
安田産業株式会社
瑞穂農林株式会社
株式会社山本清掃 京丹波ウエス
藤原 幸子
野村 諭司
黒井 誠司
城崎 正継
神谷 祥久

しあわせ川柳

第4回福祉まつりにて募集した
しあわせ川柳の一部を紹介します。

新米を子供に送り親古米

ペンネーム 西村 案山子 (広野)

年一度鈍行の旅老仲間

ペンネーム 年金族 (安栖里)

踏ん張ってラジオ体操 喜寿の坂

ペンネーム 秋桜 (本庄)

草刈りを手伝う息子 高くつき

ペンネーム 乙姫 (上乙見)

秋刀魚焼き 爛してくれる人がいて

ペンネーム 炉山人 (上乙見)

欲張らず 小さき喜び 抱きしむる

ペンネーム ケイ (升谷)

朝一番昆布と鰹のだしをとる

藤井 五都子 (篠原)

助け合う皆の気持ち ありがとう

片山 進 (広瀬)

名を呼べば返事する猫 長い友

ペンネーム しょうこちゃん (安栖里)

お互いに「お互い様」と言える仲

ペンネーム 三ちゃん (本庄)

支え合う 近所の絆 笑顔生み

ペンネーム とっさん (本庄)

腕ふるい 作ったおかず おすそ分け

ペンネーム ヒロチャン (本庄)

笑み交す おはよおかえり 今日晴れ

ペンネーム 梅ちゃん (広野)

秋いっぱい ふところにして デイの午後

森田 まつゑ (鎌谷下)

メールも良いけど 手紙も良いな 母さんは

西田 友子 (下大久保)

風呂上り ゴクリ一口 缶ビール

上田 孝夫 (和田)

幸せを感じる時は 風呂の中

高橋 一心 (鎌谷中)

夫 笑顔 怒った顔が 見てみたい

北村 綾野 (豊田)

故郷に生き 人の温もり 秋の暮れ

田中 葉子 (下山)

声合わせ ラジオ体操 家族の輪

畑中 政夫 (グリーンハイツ)

今更に 父母の苦勞 偲ひ 感謝の念

林 光子 (下山)

年重ね 優しい言葉 身にしてみて

ペンネーム 凡人 (富田)

側で寝る かわいい 我が子の 小さな手

ペンネーム りょう (グリーンハイツ)

ケーキの上 ローソク 八本 祝米寿

堀林 登美子 (高岡)

朝市の 野菜完売 箱軽く

ペンネーム クマ (実勢)

燃える秋泣いて笑った運動会

和知小五年 榎木有佳

幸せだ豊かな町で生きている

和知小五年 野間 つぐみ

実る秋栗がいっぱい栗ごはん

和知小五年 東昌一郎

通り道出会った人とこんにちは

和知小六年 大西 風璃

もうすぐで葉の色変わるきれいだな

和知小六年 竹内 海翔

ありがとうその一言がみんなへと

和知小六年 小森 理華子

私たちもみじの中で栗拾い

丹波ひかり小四年 井上 佳鈴

美味しいな笑顔いっぱい夕ご飯

丹波ひかり小四年 西田 美優

お茶を飲む茶柱立って嬉しいな

丹波ひかり小四年 小山 翔暉

夜ご飯家族で食べると美味しいな

丹波ひかり小四年 太田 梨乃

紅葉狩り色とりどりできれいだな

丹波ひかり小四年 猪田 愛良

運動会優勝出来て嬉しいな

竹野小四年 山鳥 遙音

友達とスポーツすると楽しいな

竹野小四年 樋口 雄翔

ハウセンカ割ると中から種が飛ぶ

竹野小五年 三宅 風音

みんなでねたくさんの秋楽しもう

竹野小六年 一谷 莉奈

みなさんの元気な体大切に

竹野小六年 一谷 優斗

一輪車上手に乗れてうれしいな

瑞穂小四年 里内 絢音

芝の上転がるボール追いかける

瑞穂小四年 橘 明伸

ワイワイとみんなで食べるバーベキュー

瑞穂小四年 三木 信太郎

もみじはね何回見てもきれいだね

瑞穂小五年 田淵 星奈

新米の湯気の向こうに笑顔あり

瑞穂小五年 山下 瀬里菜

秋の夜虫の合唱リンリンリン

下山小四年 上原 未琴

給食パクッいろいろな食べてうんおいしっ

下山小四年 中川 実咲

今年もね美味しい野菜ありがとう

下山小四年 小野 海音

秋の夜オーケストラか虫の声

下山小六年 上原 康誠

秋の月眺めて食べる月見団子

下山小六年 石田 堅信

約150句の応募がありました。
広報で順に紹介していきます。

第4回福祉まつりで

歌を披露してオープニングを飾りました



11月1日（日）に開催した「福祉まつり」のオープニングにおいて、作業所利用者が歌の披露をしました。作業で忙しい中、一生懸命に練習を重ねた成果を披露でき、会場を盛り上げることができました。

小学生との交流会

作業所丹波本所・和知支所において小学生との交流会をしました。自己紹介の後、一緒に色々な作業を体験し、楽しい時間を過ごしました。

また和知支所では児童の皆さんから笛の演奏や手づくりの素敵なお手紙をいただきました。

今後もこのような機会を持ちたいと考えています。ありがとうございました！



プランター作りを体験！



ネギ掃除を一緒にしました



素敵なお手紙をありがとう！



上手な笛の演奏に聴き入りました

NEWS 共同作業所



京丹波町共同作業所では：
障がいを持つ方々が地域の一員として
自分らしい生活がおくれるよう、就労
訓練や生活能力向上のための援助を行
っています。

◆問い合わせ先◆

丹波本所 ☎82-2015
瑞穂支所 ☎88-5200
和知支所 ☎84-5005

京丹波町ファミリー・サポート・センターからのお知らせ

平成27年度会員交流会で「福井県こども家族館」へ行きました！

●とき：11月23日（月） ●参加者：依頼（両方）会員親子14組36人、提供会員 7人



参加者の声

- ・子どもにはぴったりの行程で大満足でした。
- ・時間がもっとほしいくらい遊びました。
- ・保護者以外の預かり会員さんが多くいて安心できました。
- ・一度行ってみたいところで行く機会もなかったので、参加できてよかった。
- ・預かり会員でありながら自分たちが楽しませてもらいました。
- ・子どもたちのいきいきとした声を聞き、楽しいひとときでした。



提供会員（預かり会員）養成講習会

預かり（両方）会員7名に登録・受講をいただきました。



救命講習



子どもの遊び



託児ルーム

受講者の子どもを預かる『スタッフ』としても、先輩会員が活動いただきました。

「京都高齢者あんしんサポート企業」



10/ 6 (火) 丹波地区
10/15 (木) 瑞穂地区
10/23 (金) 和知地区

養成研修を開催しました



認知症サポーター オレンジリングとバッジ



接遇研修の様子

「高齢者あんしんサポート企業研修」は、高齢者が安心して住みよい町づくりを目指し、高齢者と接することの多い町内商店、金融機関と連携することにより高齢者不安の解消、特に認知症の方への理解や対応を学んでいただき、高齢者に優しい事業所としてさりげない見守りをしていただくことを目的に開催しました。

研修には、55事業所、93名の参加があり、参加者は、認知症サポーター養成講座としての認知症の症状について、支援の仕方、家族支援など。また、高齢者の特性を学ぶ・傾聴接遇マナー研修をお客様役・対応者役などになり、学びました。

研修を受けられた方は認知症サポーターとしてオレンジリングとバッジを、事業所はサポート企業の目印として、プレートとステッカーを受け取られました。

～参加者の声～

以前にお店の近くで道に迷われている高齢者の方がおられました。その時は、どこに連絡していいのかわからなかったのですが、今回研修を受けて社協へ連絡したらいいという事が分かり安心しました。今回の研修で対応など学べたので、今後は、小さなことでも気づいたことを連絡できる仕組みや、地域で見守ることにつなげる方法が学べる研修が受けたいです。



ステッカーとプレートはお店や事業所に掲示されています。

第64回 京都府社会福祉大会

昨年9月17日(木)京都テルサで開催された第64回京都府社会福祉大会において、京丹波町から次のみなさまが表彰を受けられました。おめでとうございます。

(敬称略・順不同)

◆社会福祉事業・ボランティア功労者知事表彰

社会福祉事業従事者 梅原 洋一 (京丹波町社協)

◆京都府社会福祉協議会会長表彰・感謝

民生委員・児童委員特別功労者 竹内 繁夫 (和知地区)

社会福祉事業特別功労者 寺坂久二男、田口貴美子、
福留 順子、中野 昭、
太田 明平 (丹波桜梅園)

ボランティア功労者 絵手紙ボランティア (丹波地区)
押し花ボランティア『花かご』 (瑞穂地区)

◆京都府共同募金会会長表彰・感謝

法人・団体寄付 梅田仏教会 (瑞穂地区)

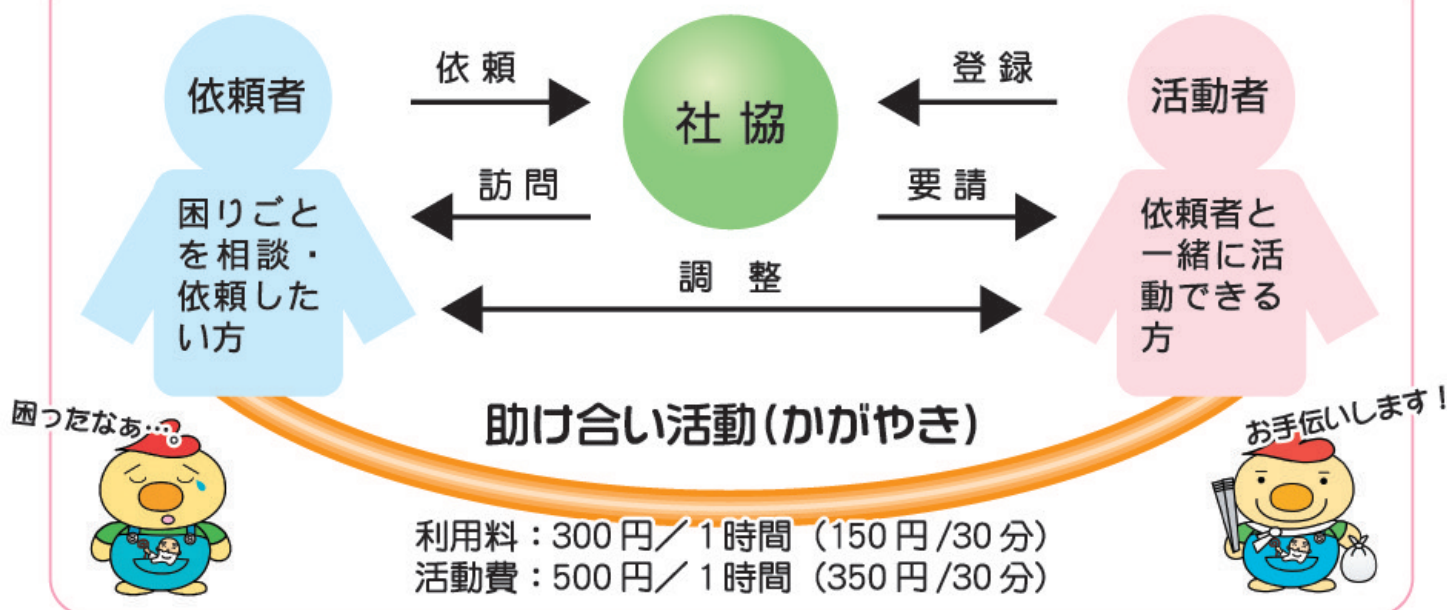


▲左から、受賞された絵手紙ボランティア代表の湊様、押し花ボランティア花かご代表の上馬場様

平成28年4月
スタート!

住民寄り添い型 助け合い活動「かがやき」

近年、世帯状況の変化（ひとり暮らしや高齢者世帯の増加、核家族化など）により、生活上のちょっとした困りごとを誰にも相談できず、地域の中で孤立する方が増えています。京丹波町社会福祉協議会では、こうした困りごとに寄り添い、お互いさまの気持ちで助け合う活動に取り組んでいます。



第1回目の講座の様子（11/21）



「暮らしのかけ橋」の実践報告（11/25）
宮津市社会福祉協議会 上辻 孝太氏

活動者講座を開催しています

暮らしの中の困りごとから、普段は気付かない地域の身近な問題を知ることがあります。「誰かの“困った”を他人ごとにならず、自分達にも関わる問題と捉え、お互い様の心で助け合っていけるまちづくりを目指したい。」そのような思いを胸に、現在多くの方に活動者講座を受講していただいています。

第1回目の講座ではびわこ学院大学教育福祉学部 平尾良治教授に助け合い活動を進める上でのポイントをお話いただき、第2回目に開催した宮津市社会福祉協議会 上辻孝太氏による「住民参加型在宅福祉サービス事業『暮らしのかけ橋』」の実践報告では、実際に活動していく上での具体的なイメージを持つ機会となりました。また第3回目の講座では、依頼者に寄り添いながら活動に取り組むことができよう、京都国際社会福祉センター 小松真佐子氏から傾聴の基礎を教えていただきました。

第4回講座：平成28年2月2日(火) 13:30～15:30／保健福祉センターほほえみ
事前学習「個人情報保護・物忘れ症状等の理解・感染症予防について」

善意のご寄付

ありがとうございます！

みなさまから寄せられた善意は、社会福祉事業に大切に使用させていただきます。

(平成二十七年九月一日～十二月三十一日まで)

数字で見る 京丹波の福祉



平成28年1月1日現在 ※()内は前号(H27.9.1)との比較

	丹波	瑞穂	和知	町全体
人 口	7,577人 (-33)	4,472人 (-26)	3,193人 (-29)	15,242人 (-88)
65歳以上人口	2,639人 (+30)	1,848人 (+2)	1,449人 (-5)	5,936人 (+27)
高齢化率	34.8% (+0.5)	41.3% (+0.3)	45.4% (+0.4)	39.0% (+0.5)
ボランティア登録者数	0～14歳 12 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	12 (±0)
	15～64歳 96 (+5)	49 (+1)	49 (±0)	194 (+6)
	65歳以上 192 (+1)	109 (+4)	146 (±0)	447 (+5)
	合 計 300 (+6)	158 (+5)	195 (±0)	653 (+11)

瑞穂地区15～64歳ボランティア登録者数の減少は、誕生日を迎えられ65歳以上になられた事によるものです。



募金機能付き自動販売機 町内で3台目設置！

12月1日(火)に3台目となる“募金ができる自販機”が、道の駅『和』に設置されました。この自動販売機での募金は、通常通りの購入で自動的に、売り上げの一部が募金できる仕組みになっています。各戸でお世話になっております赤い羽根共同募金と同様、京丹波町内の地域福祉活動(身障福祉・母子父子・老人クラブ・福祉教育・公募による助成等)に使われます。



共同募金にご協力ありがとうございました！

平成27年度
の募金総額
平成28年1月5日現在

■赤い羽根共同募金

3,128,108円

(約8割が来年度、町内の地域福祉に使われます)

■歳末たすけあい募金

1,988,103円

(全額が今年度、町内の援助に使われます)